

エンパワーするNGO



京都 YWCA

1
2024

古都に咲いて100年

中高生のためのリーダーシップワークショップ Rise Up! 「音楽を通して見える社会・変える未来」

ユース委員会では10～12月にかけて「音楽を通して見える社会・変える未来」と題して「Rise Up! リーダーシップワークショップ～変革をもたらすリーダーになる!～」を実施し、京都と大阪で約30人の中高生が参加しました。

『Rise Up!』は世界YWCAが発行した若い女性が社会を変えるリーダーになるためのガイドブックで、YWCAが考えるリーダーシップやそれを身に付けるステップが紹介されています。そのステップ(※)に沿って、自分の好きな音楽を理由とともに考え、友人に紹介することからワークショップは始まりました。普段は周りの反応を気にして本当に好きな音楽を紹介しないことがあるかもしれません。

ですが、ワークショップでは、自身が本当に好きなものを表現することが、自分を大切にすることや、リーダーシップを発揮する環境を整えるために重要だと伝えられました。中高生からは「本当に好きなものを友達と分かち合えて嬉しかった」といった感想があり、ユース委員の思いが伝わっていると感じました。さらに、自分を大切にすることは、身近な平和を実現することだと伝え、「中高生でも平和に貢献できる!」と自信を得たようでした。

※『Rise Up!』P27参照。ガイドは日本YWCAのHPから読むことができます。

自分を表現することが社会を変える

続いて、「実生活にある権利を知る」のステップを達成するため、好きなことを自由に表現する権利を誰もが持つことを学びました。また、対立を続けるイスラエルとヨルダン、レバノン、シリアなどの出身者が構成するオーケストラ「ウェスト＝イースタン・ディヴァン管弦楽団」の事例に触れながら、音楽が持つ社会を変える力を紹介し、第1部は終了しました。

第2部は、「行動を起こすリーダーシップ」に焦点を当て、第1部で説明した身近な平和を実現するために芸術(音楽を含む)を使って行動を起こすプランを考えました。将来に役立つスキルを得て欲しいという思いから、スケジュールや必要な作業の洗い出しといった実際に企画をする過程を体験してもらいました。難易度の高い課題でしたが、ユース委員と

一緒に考える中で、いじめをなくすためのSNSキャンペーンを始める、紛争のない世界の実現に向けて絵本をつくる、といった具体的なアイデアが出ました。一人で考えた企画をグループのみんなに賛同してもらえ、具体的に準備をしていく過程を楽しむ中高生の姿を見て、社会を変革するためのリーダーになるステップを一步步歩んでいることを実感し嬉しくなりました。

ワークショップの企画、資料の作成、本番を通してユース委員会のメンバーも学びややりがいを得ており、メンバーそれぞれの日々の生活の中でリーダーシップを発揮しています。今後も継続して実施予定の「Rise Up! リーダーシップワークショップ」やメンバーそれぞれの活躍に引き続き、応援をよろしくお願いします。(東上菜々子)

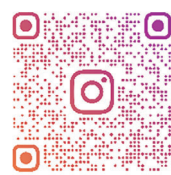
活動の様子はInstagram(アカウント名: kyotoywca youth)、X(@YWCA46709082)で発信しています。



ワークショップの様子



X(@YWCA46709082)



KYOTOYWCA YOUTH
Instagram
(kyotoywca youth)

YWCA からのメッセージ 「パレスチナとイスラエルの戦闘終結」を願って

今年 10 月 7 日に始まったイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘は、パレスチナのガザ地区で虐殺されていく一般市民の姿、粉々にされていく病院や学校などの映像でわたしたちを震撼させ、この暴力をなんとか止めたいという思いに駆り立てています。他団体の多数の抗議行動、要望書提出、講演会などのお知らせが日本 YWCA から次々に入ってきています。

日本 YWCA からは 10 月 11 日に「あらゆる暴力の即刻停止と、パレスチナへの軍事占領の終結を求めます」という声明文、22 日に「現在ガザ地区で起こっているジェノサイド（大量虐殺）を止める報道を！」という要請文が発表されました。「即刻止めねばならないことは、パレスチナ・イスラエル双方、無辜の人々が犠牲となること」であり、「公正な報道」「特に弱い立場に置かれている、女性、子ども、障がい者、高齢者、避難が困難な人々に寄り添い、市民の声を届ける報道」を要望しました。賛同団体、賛同者は 1000 人を超え、京都 YWCA 運営委員

会、平和・環境活動委員会、ブクラ（パレスチナを考えるグループ）も賛同を表明しています。

世界 YWCA はパレスチナ YWCA からの切実な訴えを受けて「パレスチナからの声を聴く会」を主催し、日本 YWCA や地域 YWCA から参加者がありました。ここでは「パレスチナの歴史を正しく知ってほしい」「この状態が終結するよう各国政府に働きかけてほしい」ことが訴えられました。

暴力と戦争は全く理不尽なものです。特にそのただ中にある多くの人々にとってこれほどの絶望はありません。わたしたちは関心を失うことなく、署名や行動でこの状況を止める努力をしたいと思います。

（篠田茜）



パレスチナ YWCA ロゴ
（もと青色の部分が、犠牲者の追悼のため黒色になっている）

日本 YWCA 地域連携事業（Local Action）第 3 期 「多様な人々が集う居場所づくり」横浜 YWCA を訪問して

だれしも生きていくのに必要な「食」を介在させることで、さまざまな背景を持つ人がありのままの自分である場「セーフスペース」をつくることのできるのでは——という考えから、京都・横浜・福岡の 3 地域 YWCA の協働により YWCA のセーフスペース事業の推進と社会への発信を目的に、地域 YWCA 連携事業として「多様な人々が集う居場所づくり」プロジェクトに取り組んでいます。全国の地域 YWCA を対象としたオンライン情報交換会を経て、相互訪問・外部団体視察プログラムを行うことになり、その初回として 11 月 22 日に横浜を訪れました。

横浜 YWCA が運営する「Y カフェ パーショ（エスプレント語で一步）」は大きな窓や居心地の良いソファがある空間で、高品質なコーヒーや丁寧に作られたランチなどが提供されています。いろいろなバックグラウンドを持つ働きづらさ・生きづらさを抱えた女性の就労支援の現場でもあり、「生きていることそのものに価値がある」「その人が持っているものを活かす」という視点で、その人らしい一歩「パーショ」を応援しています。

もう一つの訪問先「信愛塾」では、センター長の竹川真理子さんのお話を聴きました。1978 年横浜市中区の中

華街の一角で在日コリアンの子どもたちを中心にした子ども会として出発し、現在は外国につながる子どもと家族のために学習支援・伴走型教育生活相談事業、多文化共生社会を目指した講座等を行っています。社会の変化の中で一貫して外国にルーツを持つ子どもや保護者に寄り添ってきた竹川さんの熱のこもった話の合間にも、相談の電話がかかってきたり、入口から子どもの顔がのぞいたり。いつでも飛び込んでこられる場所であることが伝わってきました。

居場所といってもさまざまなテーマがあります。テーマに即した知識やスキルなどが求められますが、その礎として必要な「セーフスペース」を改めて考える機会となりました。

（別所加恵）



信愛塾で代表の竹川さんを囲んで

京都 YMCA・YWCA 合同祈禱週集会 「精霊に祈る～垣根をこえた未来への種まき～」

毎年11月に京都YWCAは京都YMCAと合同祈禱週集会を行っている。本年も18日に日本聖公会京都聖マリア教会牧師の藤原健久（たけひさ）さんをお迎えし、京都YMCAで行った。藤原さんは牧師をしながら子ども食堂やYouTubeでの発信をされており、フランスにある超教派のテゼ共同体*にならい「黙想と祈りの集い」を月に1回行っている。

今回のテーマは「Seeds to Blossoms ～互いを知る一歩は前への一歩～」[手を取り合って希望と愛を育てましょう]である。これは聖書の一節から選ばれたものであり、今回の集会はそのテーマにふさわしく、YMCAとYWCAがお互いのことを知り将来を考える機会となった。

集会は、藤原さんの弾き語りによって参加者みんなで「ハレルヤ」「天にいます私たちの父」などを歌い、聖句を読むという和やかな雰囲気ではじまった。その後お互いの活動をまとめた動画を見た。京都YMCAには京都YWCAにない施設や取り組みが多くあり興味深かった。異なる点も多くあったが、「多様性」や「平和」を目指しているのは同じであるという点が印象的であった。

YMCAのメンバーとYWCAのメンバーが数人ずつに

分かれ、それぞれがどのような活動をしているか話し、気になった活動について尋ねあい、一緒にしてみたいことなどを話し合った。どちらかの活動に興味のあることを一緒にすることや、今まで片方のみでは力不足だったことが協力しあえるという意見もあり、これからの活動がますます楽しみになる時間であった。

また、藤原さんによると「精霊に祈ることは形を超え、あらゆる垣根を超える」ということだそう。垣根を超えて協力することは平和への第一歩だろう。最後に全員で精霊に祈り、有意義な時間は幕を閉じた。（尾崎琴美）

*フランスのテゼ村にある、キリスト教のさまざまな教派による男子の修道会。テゼは年間10万人を超える若者が訪れるヨーロッパ有数の巡礼地でもある。



藤原さんのギターに合わせて歌いました。

シリーズ——日本語でつなぐ笑顔と笑顔 (6) ～にほんご教室「洛楽」～

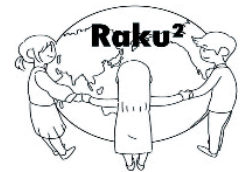
異文化との遭遇は「エポケー」で！

私が洛楽に仲間入りしたのは確か下の子がまだ小学3年生の時でした（今は新社会人です。いつの間に！？）。その間に多くの方々との出会いがありました。さまざまな国からの学習者さん、個性豊かな講師・職員の皆さん、いつも本当にありがとうございます。疲れていても教室に行くと元気が出て笑顔になります。

日本語教師になるために学んでいた講義の中で、今も常に頭に残っている言葉があります。それは「エポケー（判断保留）」というギリシャ語です。異文化に遭遇すると驚きや恐怖心が湧いてくることがあります。どうしても自己文化を中心に物事を捉えてしまうからです。そんな時こそ「エポケー」です。自分の価値観や思い込みは一旦置いておいて「へえ～そうなんですか～」とニュートン



木曜日中上級クラスの学習者の皆さん



京都YWCAにほんご教室洛楽

ラルに受け止めます。今、世界のあちらこちらで国と国との間に緊張が走っています。お互いを知らない、ということが恐怖心や差別を生み出します。日本語教室では、今まで知らなかった他国の方々とお互いに語り合い、笑顔で「へえ～そうなんですか～」と受け止め合います。国家間では難しくても、個人ではそんなに難しいことではありません。私はこの活動が微力ながらも平和への道筋を作るに足るとずっと信じています。

これからも学習者さんが京都「洛」で楽しく「楽」笑顔で暮らせるように、と願っています。皆さんもYWCA内で学習者さんに出会われたら声を掛けてあげてください。日本語を使うチャンスをきっと求めていらっしゃいます。

（中川美佳子）



木曜日初中級クラスの学習者の皆さん

今後のプログラム

◎京都 YWCA100 周年記念公開シンポジウム

排除無く、誰もが花咲く社会～多世代・多文化ふれあいコミュニティの実現～

- 日 時：2024年1月27日（土） 13:00～16:30
 - 会 場：京都市男女共同参画センター ウィングス京都
 - 参加費：一般 1,000 円（30 歳以下は無料。保育あり）
- 詳細は京都 YWCA ホームページをご覧ください。

◎ 2.11 集会「婦人水平社の歩み」

- 日 時：2024年2月17日（土） 13:30～15:30

◎ピーター・バラカン DJ ライブ in 京都 # 12 「春を待つ」

12 回目を迎えるバラカンさんの DJ ライブ。争いの絶えない世界に希望や明かりがもたらされることを願い、開催します。

- 日 時：2024年2月24日（土） 14:00～16:00（開場 13:30）
- 場 所：日本聖公会聖アグネス教会（京都市上京区烏丸下立売角）
- 参加費：2,500 円（一般・大学生）、1,500 円（中高生・障がい者）
- 申 込：要 詳細は事務所までお問合せください。

◎京都 YWCA 第 102 回定期会員集会

会員組織である YWCA のミッション推進活動のこれからの形を考えます。

- 日 時：2024年3月2日（土） 13:00～16:30
 - 場 所：京都 YWCA あじさい保育園ホールおよびオンライン
 - 主 催：京都 YWCA 運営委員会
- 詳細は後日お知らせいたします。

税理士法人有田事務所

税金のことでお困りの時は
ご相談ください

室町通 今出川通 烏丸通
武者小路通 京 都
税理士法人 有田事務所 御 所

京都市上京区武者小路通烏丸西入梅屋町 468
URL <http://www.aritax.jp>

aritax Q 検索

で一発です！ ☎ 075-451-5178

ご協力ありがとうございました

2023年10月1日から11月30日 寄付者一覧（敬称略、順不同）

各指定寄付

*法人支援
中嶋野花

* 100 周年記念募金

神門佐千子、有田孝子、小川恵美子、
貴田雅子、重谷秀星、森本ぶどう園、
一財）札幌 YWCA、匿名

*多文化共生委員会

友岡文、飯田修、富田京子

* APT

内田匡子、大手理絵、神門佐千子、
高山亨、北山英太、北垣由民子、
築瀬仁志、匿名

*自立援助ホーム「カルーナ」

中村美智子、文田則子、小宮一子、
斉藤洋子、日本聖公会京都教区婦人会、
社）西陣会

「京都 YWCA100 周年記念募金」 へのご協力をお願い



100 周年を迎えた京都 YWCA は現在「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業を推進しています。この歩みをさらに前進させるために、100 周年記念募金を実施しています。ご寄付は以下の目的に充てられます。

- 担い手育成・次世代育成のために
- 保育環境の向上のために
- W・M・ヴォーリス建築「サマリア館」の補修
- 歴史を未来に引き継いでいくために

目 標 額：1,000 万円

（2023 年度 12 月 6 日時点 達成額 9,359,527 円）

募集期間：2021 年 4 月～2024 年 3 月

募 金 額：個人 1 口 3,000 円

団体・企業 1 口 10,000 円

郵便振替 01080-9-1566

加入者名 公益財団法人京都 YWCA



オンラインによるご寄付は以下のサイトよりお願いします。

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

その他の京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合わせていただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

11・12月／理事会報告

- 10/28：「地球にやさしい人とのをつなぐ プチマルシェ」実施
- 11/12：あきまつり（親・子育て支援活動委員会とあじさい保育園が共催）
- 11/18：京都 YMCA・YWCA 合同祈祷週集会（本誌 3 ページ参照）
- 12/9：「子育ておはなしかい」開催

- 保育園クリスマス会：乳児（12/14）、幼児（12/22）実施
- 12/16：京都 YWCA クリスマスのつどい（礼拝：大橋茉莉耶牧師）
- 12/27：小学生のための居場所プログラム、キッズデアウト「ガジュマルの樹」実施
- 2024 年 1 月 1 日より営業時間を以下の通り変更。
事務所受付時間 9:00～17:30、開館時間 9:00～18:00

KYOTO YWCA No.578 2024 年 1 月号（1月1日発行）

発行人：上村 敏巳子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電 話：(075) 431-0351

F A X：(075) 431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

H P：<http://kyoto.ywca.or.jp>

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：（公財）京都 YWCA

定 価：1 部 50 円

発 行：奇数月 1 日発行